

かがやく瞳

No. 8号

発行日 令和元年5月15日
発行責任者 豊福 猛
編集 社会福祉法人
北見福祉会広報委員会

〒090-0835 北見市光西町178-5
TEL 0157-57-5057
FAX 0157-57-4767

しょうぶな体の子ども ゆたかな心の子ども のびのび遊ぶ子ども



子どもを見守るこぶしの花満開

理事長 豊福 猛

北見にも例年より早く桜が咲き今年は少し早いお花見の季節となりました。私は桜もよいのですが、こぶしが好きです。冬の間は厳しい寒さにじっと耐え、ひたすら春を待っていて、雪解けとともに1輪、2輪と咲き始め、このところの気温の上昇に合わせ、あっという間に満開になりました。こぶしの花が上向きに咲くと晴れの日が、下見気に咲くと雨の日が多く、横向きは風が強いと聞いたことがあります。私が見た限り今年の花は上向きのようです。夕陽ヶ丘・光西・みなみ認定こども園の園児たちがこぶしの木の下や自然環境の中ですくすく成長して欲しいと願っています。爽やかな季節の始まりです。

さて北見福祉会は平成28年4月に幼保連携型認定こども園として移行し4年目を迎えました。認定こども園では保育機能の子どもの心身の発育や情緒面を育てる「養護」への対応とともに、小学校以降の目標となる『生きる力』の基礎を築く「教育」の推進が一層求められています。この課題解決のため、「のびのびあそぶ子ども」「豊かな心の子ども」「丈夫な体の子ども」の具現化を進めてきました。しかし、子どもの意欲や心情、態度の育成には3園だけの取り組みだけでは限界があり、ご家庭の協力が不可欠になります。家庭・こども園・北見福祉会の協働により次世代を担う健やかな子どもを育てるためご理解、ご協力宜しくお願いいたします。

生きる力と子ども像

桜の季節もあっという間に終わり、初夏の訪れを感じる頃になりました。天皇陛下の退位と即位、大型連休などもあったためでしょうか。4月1日の入園・進級式からは、あっという間に過ぎてきたような気がします。

4月からの短い期間ですが、子ども達には、大きな成長が見られます。その一つが、小さな子ども達の泣き声が、園舎から聞こえなくなったことです。

初めての園生活で、優しいお父さんやお母さんと離れる時の小さな子ども達の心は、寂しさ、悲しさ、不安でいっぱいだったはずですが、それが今では、朝のお別れも笑顔でバイバイ。子ども達は、小さな心の中でどのように自分に言い聞かせ、折り合いをつけたのかと考えると、不思議な気持ちにさえなります。登園時の朝の別れは、子どもの心を成長させる大きな出来事だったのかも知れません。

さて、夕陽ヶ丘・光西・みなみの3園を運営する北見福祉会では、保護者と協働で心身ともに健康な子ども達を育てるために、ご家庭の意見や要望をお聞きするとともに、各こども園の運営方針や教育・保育の目標などをお知らせするため、広報紙『かがやく瞳』を発行しています。

子ども達の様子をお知らせする「クラスだより」とは違い、少々硬い内容になってしまい恐縮に思いますが、目を通していただければ幸いです。

幼稚園や保育園等の幼児施設での教育や保育の内容は、平成20年度から大きく変わりました。

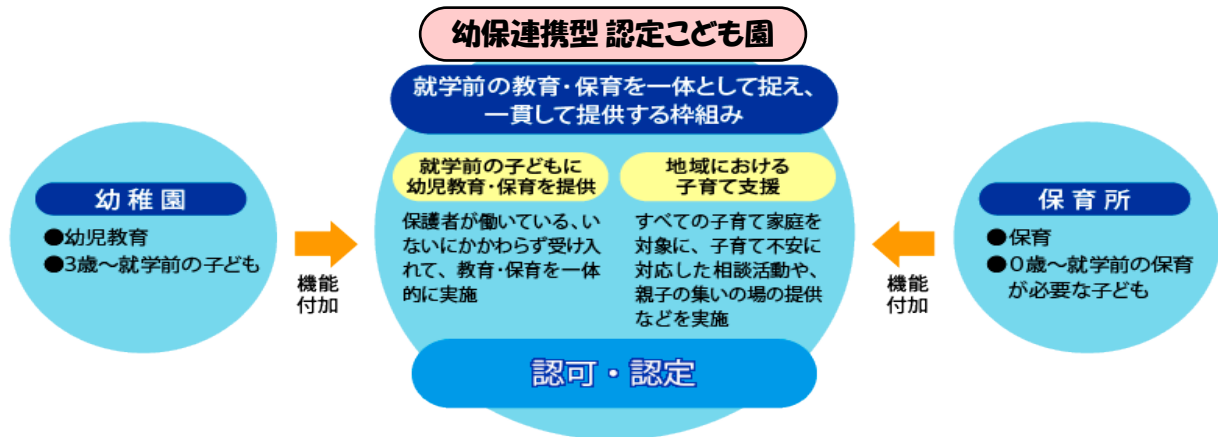
従来は、“幼稚園は教育の場”“保育園は育児を主とする施設”とのイメージがありました。これを境にして、保育園でも幼稚園と同様の幼児教育が行われるようになりました。

また、平成27年度からは、幼稚園と保育園の両方の長所を併せ持つ「幼保連携型の認定こども園」が制度化され、当時保育園だった北見福祉会の3園も翌年度、この「幼保連携型認定こども園」に移行して、現在に至っています。

昨年度には、「幼稚園の教育要領」、「保育所の保育指針」、「幼保連携型認定こども園の教育・保育要領」の改訂が行われ、各施設でほぼ同様の幼児教育を進められるようになりました。

幼児教育界の課題は、子ども達が生涯にわたり必要となる力「生きる力」の基礎を育てることです。





「生きる力」とは、『自分から課題を見つけ解決する力、他を思いやる優しさなど豊かな心や人間性、遅く生き抜く体力や精神力』のことで、小学校以降、すべての学校の中心的な課題になっています。自分から課題を見つけたり解決したりするためには、知識や技能が必要になります。そのため、小学校以降では“確かな学力の育成”も大切にされています。一方、幼児教育界では、「その基礎」の育成が求められています。「基礎」にはいろいろな意味や内容が含まれますが、まずは健康な体を育てること。そして、こども園での生活を通して、園児や保育教諭との触れ合いの中から、友達を思いやる優しさを身に付けること。さらに、遊びを通して、たくさんの経験を楽しむ中で、いろいろなことに興味や関心を持つ子どもを育てることが大切と考えています。北見福祉会の各こども園では、「生きる力」の基礎を育てるために、共通の「目指す子ども像」を設け、日々の教育・保育を行っています。

北見福祉会 認定こども園の「目指す子ども像」

じょうぶな体の子ども

- ◎ 規律ある生活と遊びを通し、丈夫な心身の育成による、命の大切さを理解する子ども
 - 家庭との連携により、健康に関わる基本的な生活習慣を定着させるとともに、食育を推進し、健康の素晴らしさの気付きから、自他の命の大切さを意識できる子どもを育てたい。

ゆたかな心の子ども

- ◎ 他を思いやる気持ちをそなえ、笑顔でこども園の生活を送る、心豊かな子ども
 - 心の成長の証として、喜怒哀楽を表情にあらわすとともに、友達との遊びを通し、その楽しさから友達の大切さを理解させ、他への思いやりの心を育てたい。

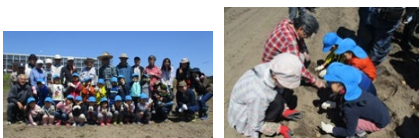
のびのび遊ぶ子ども

- ◎ 何に対しても興味関心を持ち、自分の考えでのびのび遊び、行動する子ども
 - 行動、活動のルールを理解した自主遊びや体験活動に取り組みせ、身に付けた探究心や感性、個々の良さを認め伸ばし、意欲的にこども園生活を送る子どもを育てたい。

次号では、幼児教育の内容についてお知らせする予定です。

各園での「こども達の様子」をちょっと紹介しましょう。

☆☆夕陽ヶ丘認定こども園☆☆



高栄地区だんだん菜園
5月13日、ひまわり組の子どもたちがだんだん菜園の方たちとじゃがいもの植え付けをしました。だんだん菜園は、単身で住まわれている男性高齢者の方たちが菜園作りを通して元気に生き生きと活動できるようにと開設された集いの場で、今回は12名の方たちと一緒に作業を行いました。楽しく談笑しながら植え付けを終え、「また見に来るね！」と約束してきました。収穫が楽しみです。

☆☆光西認定こども園☆☆



今年もひまわり組が力を合わせて作ったこいのぼりが、大空を元気に泳ぎました。大きな大きな布にゴムを何重にもかけ、きれいに絞り染めが完成。その布で作ったこいのぼりはとってもきれいで、みんな大満足でしたよ。

☆☆みなみ認定こども園☆☆



【よもぎもち交流会】
4月23日、祖父母の皆様にご協力いただき、よもぎ餅を食べました。おじいちゃんやおばあちゃんにはあんこを入れてよもぎ餅にしてもらいました。季節を味わう大切な行事の一つとして、子どもたちの良い思い出になっています。また、おじいちゃん・おばあちゃん達にも『孫との楽しいひととき！』と喜ばれています。